



第4章 水の環(わ)復活プランの理念とめざす姿

第1章 なごや水の環(わ)復活プランとは
第2章 名古屋市の現況
第3章 なごやの水循環の課題
第4章 水の環(わ)復活プランの理念とめざす姿
第5章 水の環(わ)復活に向けた取り組み
第6章 推進方策・フォローアップ
資料編

1 プランの理念

第2章、第3章で名古屋の水循環に関する現状と課題を整理しました。これらの課題を解決するため、「なごや水の環(わ)復活プラン」では、「豊かな水の環(わ)がささえる『環境首都なごや』」の実現を理念とします。

- 理 念 -

豊かな水の環(わ)がささえる「環境首都なごや」

都市化によって損なわれたなごやの水の環を復活するとともに、市民生活の営みと環境の保全に果たす水の機能が、適切なバランスの下に保たれている「豊かな水の環(わ)がささえる『環境首都なごや』」の実現を理念とします。

2 プランのめざす姿

プランの理念である「豊かな水の環(わ)がささえる『環境首都なごや』」の実現のためには、第3章で抽出した課題の解決が必要です。そこで「なごや水の環(わ)復活プラン」では、雨水の地下浸透量の増加、湧水の保全や雨水の蒸発散量の増加により、豊富な地下水がある街、豊かな流れのある川、水がきれいでいろいろな生き物が棲んでいる水辺や涼しくさわやかな街を、市民・NPO・事業者・行政のパートナーシップによりめざします。

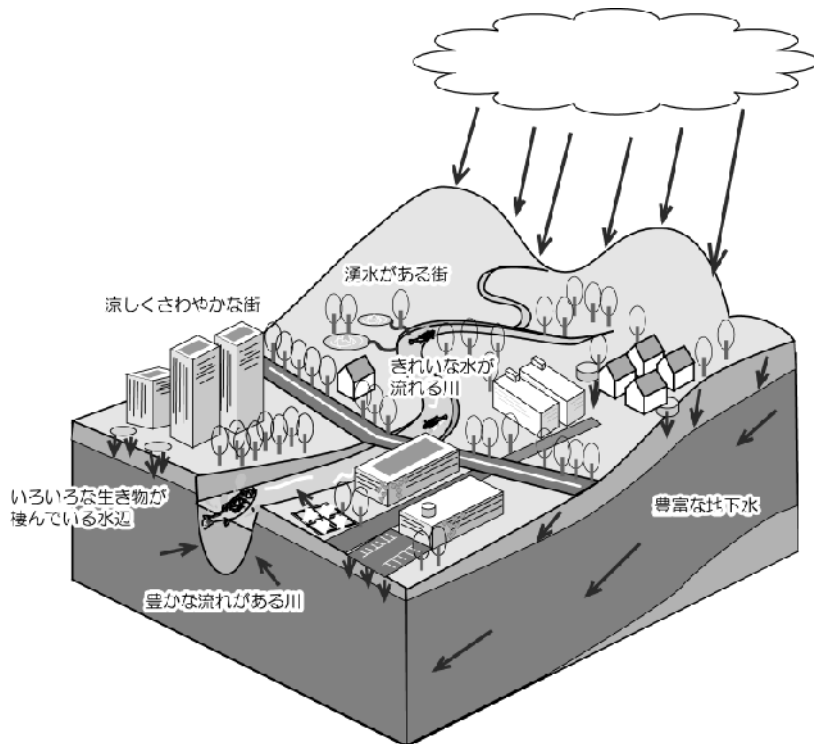


図 4-1 水の環(わ)復活プランのめざす姿

3 プランの基本方針

プランの理念である「豊かな水の環(わ)がささえる『環境首都なごや』」の実現に向けて、名古屋市の「水」と「緑」と「人」についての様々な関わりを念頭に置き、次の3つの基本方針を掲げます。

- (1) 水循環機能の回復
- (2) 人にも生き物にもやさしい水辺や緑がある街づくり
- (3) パートナーシップによる水の環の復活

(1) 水循環機能の回復

雨水の地下浸透機能が低下した市域において水の環を復活し、浸透機能や水質浄化機能、水や緑による蒸発散機能などを十分に発揮することで、水環境(水量、水質、水生生物、水辺の保全)と地盤環境を良好に保つとともに、ヒートアイランド現象の緩和をめざします。

(2) 人にも生き物にもやさしい水辺や緑がある街づくり

都市化によって、ため池や水路、緑が減少し、水辺に生息する多くの動植物が見られなくなりました。また、水辺や緑は人々の心に安らぎを与えてくれます。

そこで、水と緑のつながりを重視し、魅力のある水辺など人にも生き物にもやさしい水辺や緑がある街をめざします。

(3) パートナーシップによる水の環の復活

都市化が進み、市内の水辺や緑の減少に伴って、生活の中で水や緑にふれあう機会が少なくなり、それを守り育てる気持ちも希薄になっています。そこで市民・NPO・事業者・行政がお互いの役割を理解し協働して水の環の復活をめざします。

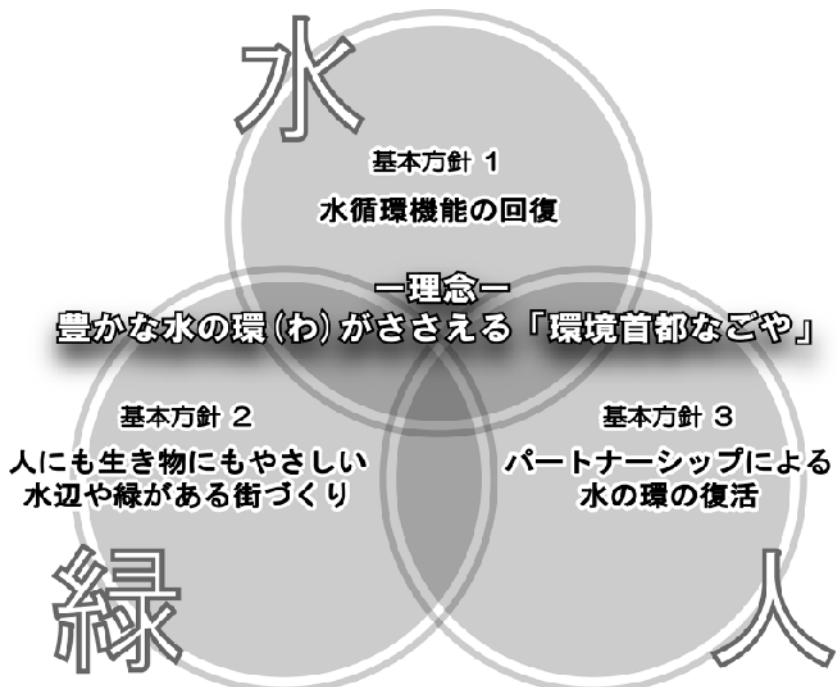


図 4-2 水の環(わ)復活プランの理念と基本方針

第1章

なごや
水の環(わ)
復活プラン
とは

第2章

名古屋
市域
の現況

第3章

なごやの
水循環の
課題

第4章

水の環(わ)
復活プラン
の理念と
めざす姿

第5章

水の環(わ)
復活に
向けた
取り組み

第6章

推進方策
・
フォロー
アップ

資料編

コラム : 名古屋市環境基本計画

第2次名古屋市環境基本計画 ともに創る「環境首都なごや」

本市では、平成11年に「名古屋市環境基本計画」を策定しましたが、その後、様々な社会変化や、大幅なごみ減量の達成などの環境問題に関する市民意識の高まりを踏まえ、市民・事業者・行政の協働のもと、広範多岐にわたる環境問題により効果的に取り組めるよう、平成18年7月に計画の改定を行いました。

新しい総合目標は「ともに創る『環境首都なごや』」。市民・事業者・行政の「パートナーシップ」をさらに発展させ、3者の具体的な行動に重点を置いた「協働」を個別目標の基盤として位置づけました。目標年度は、名古屋開府400年にあたる2010年度です。

【計画の目標】

ともに創る「環境首都なごや」

協 働

- 協働の促進 ●環境にやさしいライフスタイル ●環境にやさしい事業活動

リーディングプロジェクト

「環境首都なごや」を支える人づくり・人の輪づくり

※環境学習に参加する人の割合 14%→20%

「健康で安全な都市」をめざします

- 健康で安全な生活環境の確保 ●環境リスクの低減

リーディングプロジェクト

大気環境と水環境の保全

※環境目標達成率 NO₂ 10%→50%以上 BOD 73%→100%

健康

「循環する都市」をめざします

- 廃棄物対策 ●交通・物流対策 ●健全な水の循環

リーディングプロジェクト

ごみを出さないライフスタイルの促進

※ごみと資源の総排出量 111万トン→108万トン以下

リーディングプロジェクト

「なごや交通戦略」の推進

※公共交通と自動車の割合 3:7→4:6

循環

「人と自然が共生する快適な都市」をめざします

- 快適なまちなみ ●自然とのふれあい ●自然環境保全と災害対策

リーディングプロジェクト

緑豊かなまちづくり

※市民1人あたり都市公園等の面積 9m²→10m²

自然

「地球環境保全に貢献する都市」をめざします

- 地球温暖化防止 ●地球環境問題への取組

リーディングプロジェクト

家庭・オフィス・自動車からのCO₂削減

※CO₂排出量(1990年対比) 9%増加→10%削減

CO₂